

2017/6/19

柏の景気情報（平成29年5月分）

柏 商 工 会 議 所

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所 振興課
〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18
TEL : 04-7162-3305
FAX : 04-7162-3323
URL : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>
E-mail : info@kashiwa-cci.or.jp

柏の景気情報（平成29年5月分）

○ 調査期間 : 平成29年5月24日 ~ 平成29年5月29日

○ 調査対象 : 柏市内156事業所及び組合にヒアリング

＜産業別回収状況＞

調査産業	調査対象数	回答数	回収率
全産業	156	71	45.5%
建設	44	18	40.9%
製造	33	18	54.5%
卸・小売	43	20	46.5%
サービス	36	15	41.7%

○ 調査方法と調査表 : 下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A

質問事項	回答欄					
	前年同月と比較した 今月の水準			今月の水準と比較した向 こう3ヶ月の先行き見通し		
a.売上高 (出荷高)	1 増加	2 不変	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
b.採算 (経常利益ベース)	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
c.仕入単価	1 下落	2 不変	3 上昇	1 下落	2 不変	3 上昇
d.従業員	1 不足	2 適正	3 過剰	1 不足	2 適正	3 過剰
e.業況	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
f.資金繰り	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化

質問B 業界内のトピック(記述式)

DI値 = 1 増加他の回答割合 - 3 減少他の回答割合

※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの項目についての判断状況を表す。0(ゼロ)を基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※ DI値と景気の概況

DI ≥ 50	50 > DI ≥ 25	25 > DI ≥ 0	0 > DI ≥ ▲25	▲25 > DI
特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振

【平成29年5月の調査結果のポイント】

◀業況DIは2ヶ月連続で悪化。先行きは懸念材料多く、足踏み状態が続く▶

○5月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲23.9(前月水準▲20.5)となり、マイナス幅が3.4ポイント拡大した。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲35.0(同▲41.6)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲22.2(同▲11.1)、建設業▲27.7(同▲17.6)、サービス業▲6.6(同±0.0)である。

【建設業】からは、「インスペクションへの対応準備が、今後の受注の鍵になるのでは。」(一般土木建築工事業)、「売上と仕入が同額という経営危機のため財務体質強化が重要課題。」(内装工事業)、「オリンピック景気はどうなったのでしょうか?」、「消費税の増税が先送りになり、その好影響は?」、「借金してでも公共事業費を増やし、色々な補助金を付けたのに?それ以外の理由で住宅業者の選別が始まる中、売上増加・業況好転になりたいものです。」(一般土木建築工事業)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは、「各種イベントの形が少しずつ変化しており、縛りが多く全体的に縮小しているような気がする。それは業界にとってよくない傾向。」(印刷業)、「材料会社の設備投資失敗や火災によりSUS材料の品薄状態により、納期確保と価格上昇が懸念される。」(その他の機械・同部品製造業)、「売上高は昨年同月比で増加したが、昨年末～本年初の設備投資による減価償却費の増加等の影響もあり経常利益ベースで前年並みとなった。」(酒類製造業)、「ノー残業が良いとの風評はあるが、小企業の従業員には所得のマイナスが大きく影響している。」(その他の金属製品製造業)、「今期初めから減損モードで始まっている。売上の山の高さが低く、採算割れが続いているため、後半一層の努力が必要である。」(印刷業)などのコメントが寄せられた。

【卸小売業】からは、「SC等で低価格化が進んでいて足を引っ張られている感じ。高額品苦戦。」(婦人・子供服小売業)、「昨年は多くの食品スーパーが出店したため、だいぶ売上を取られたが、その反動なのかこの2ヶ月は上向いてきている。」(各種食料品小売業)、「母の日の売上は好調」(菓子・パン小売業)などのコメントが寄せられた。

【サービス業】からは、「天候不順で衣替えも一斉に始まらず、夏物学生・子供衣料もまちまちのため、日々の売上の変動が激しい。急いで夏物を準備したが現在のところ反応がない。最近、お客様からネット通販や100円ショップの利用の話が多くなり、客足が減少しているようだ。仕入決算は月末の翌25日払いと、給料が20日めの30日振込に対し、大口の請求決済が月末の翌月末の振込のため資金繰りが厳しいため、給料支給日の変更を検討中」(その他の飲食料品小売業)、「大手宅配会社の値上げが運送業界の体質改善に波及するのを見極めたい。」(一般貨物自動車運送業)、「国土交通省の貸切バスの新たな運賃料金制度(時間・距離併用制)導入により、貸切バス運賃が上昇し3年が経つ。今迄よりも近したり、貸し切りバスを利用しないでも行ける場所に変えたりする企業・学校が少しずつ増えている。」(旅行業)、「季節的変動はあるが、事業用住居用共に月に賃貸需要は安定。」(不動産賃貸・管理業)、「TX沿線の宅地開発に伴う人口増加で保育園や学校が足りない。このエリアは子供達が多く働き盛りの家庭の比率が大きくなっている」(不動産賃貸業)、「物件の買取依頼・売却依頼が増えている。駅に近い、交通の便利な所、環境の良い物件は人

◎売上減少

各業種より、「大口取引先の突然の支払い条件変更により売上激減。」(内装工事業)、「受注減少で残業0日が続いている。」(その他の金属製品製造業)、「4月は多少売上増になったが、ゴールデンウィーク後はまた元にもどり繊維不況に後戻り。」(婦人・子供服小売業)、「下請けから発注欲しいと要請あるが、自社も柱となる発注が見出せず苦慮している。」(ソフトウェア業)などのコメントが寄せられた。

◎人手不足(人件費高騰)

各業種より、「人件費の高騰・人手不足のため、多少の賃上げでは集まらない。」(その他の各種商品小売業)、「いまだに人手不足は深刻である。」(各種食料品小売業)、「採用計画」(織物業)などのコメントが寄せられた。

	全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
12月	▲18.6	▲16.6	▲16.6	▲33.3	±0.0
1月	▲24.3	▲23.8	▲11.1	▲44.0	▲7.1
2月	▲22.2	▲20.0	△5.8	▲45.4	▲23.0
3月	▲13.3	▲10.0	△5.8	▲50.0	△12.5
4月	▲20.5	▲17.6	▲11.1	▲41.6	±0.0
5月	▲23.9	▲27.7	▲22.2	▲35.0	▲6.6
見通し	▲11.2	▲5.5	△5.5	▲35.0	▲6.6

見通しは今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

【平成28年5月の業況についての状況】

○ 5月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲23.9(前月水準▲20.5)となり、マイナス幅が3.4ポイント拡大した。

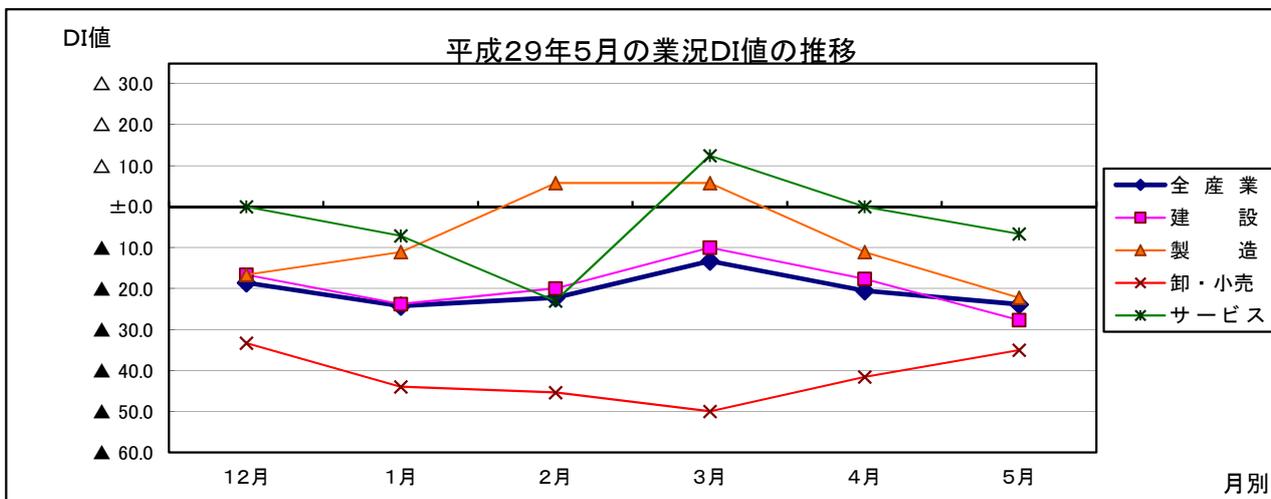
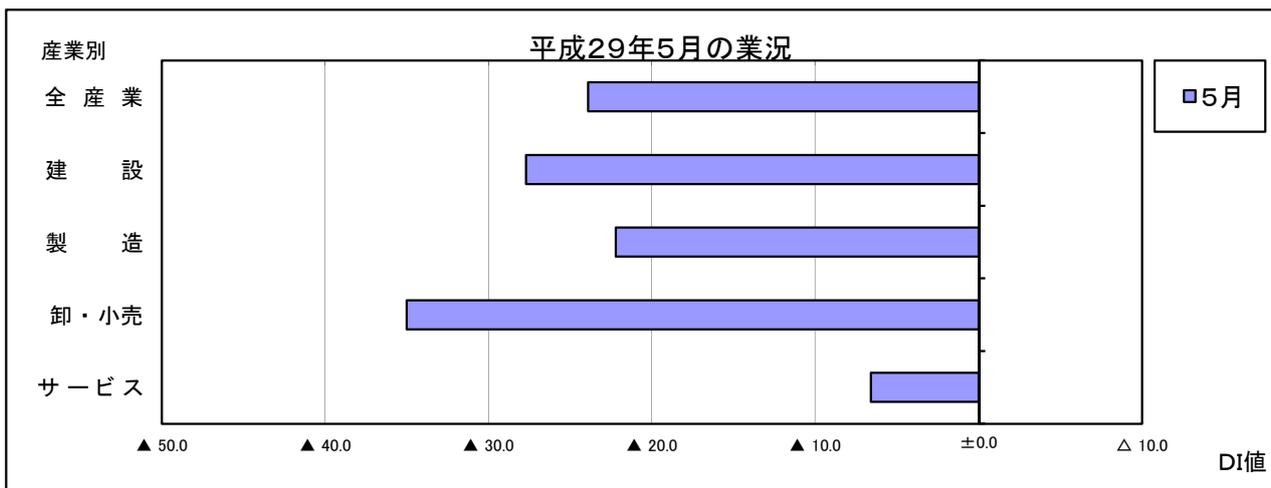
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲35.0(同▲41.6)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲22.2(同▲11.1)、建設業▲27.7(同▲17.6)、サービス業▲6.6(同±0.0)である。

○ 向こう3ヶ月(6月から8月)の先行き見通しについては、全産業では、▲11.2(前月水準▲16.4)となり、マイナス幅が5.2ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、製造業△5.5(同±0.0)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業▲5.5(同▲11.7)、卸小売業▲35.0(同▲37.5)、サービス業▲6.6(同▲7.1)である。

平成29年5月業況DI値(前年同月比)の推移

	平成28年 12月	平成29年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6月~8月(5月~7月)
全産業	▲18.6	▲24.3	▲22.2	▲13.3	▲20.5	▲23.9	▲11.2(▲16.4)
建設	▲16.6	▲23.8	▲20.0	▲10.0	▲17.6	▲27.7	▲5.5(▲11.7)
製造	▲16.6	▲11.1	△5.8	△5.8	▲11.1	▲22.2	△5.5(±0.0)
卸・小売	▲33.3	▲44.0	▲45.4	▲50.0	▲41.6	▲35.0	▲35.0(▲37.5)
サービス	±0.0	▲7.1	▲23.0	△12.5	±0.0	▲6.6	▲6.6(▲7.1)



【平成29年5月の売上についての状況】

○ 5月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲8.4(同▲2.7)となり、マイナス幅が5.7ポイント拡大した。

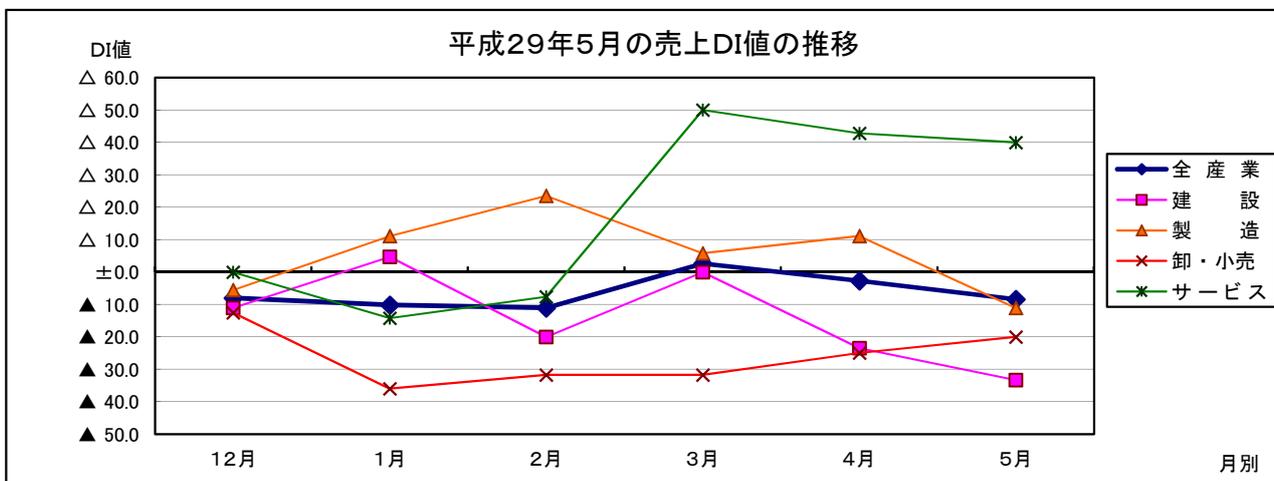
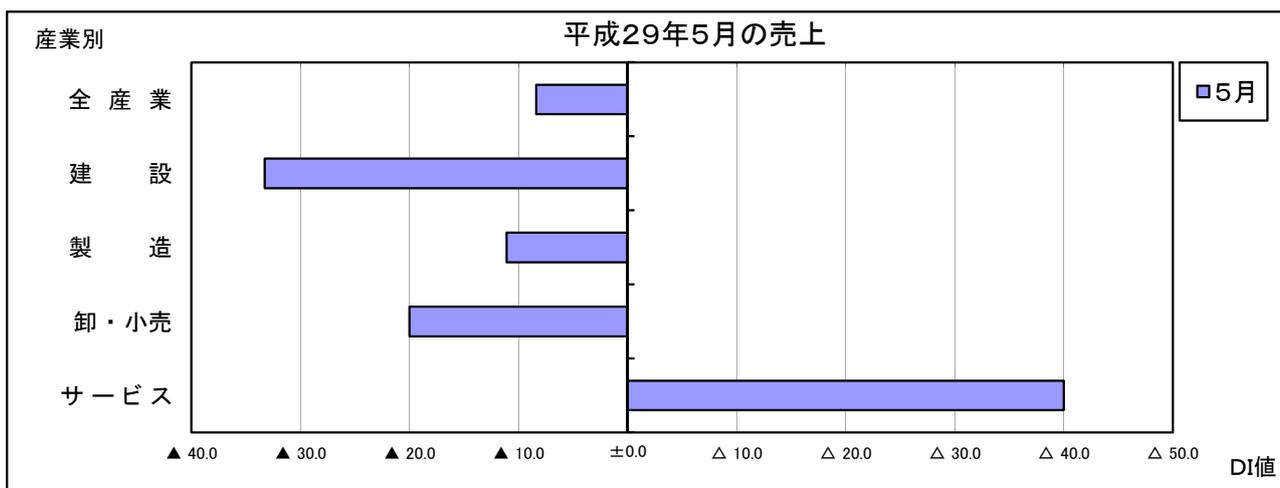
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲20.0(同▲25.0)である。プラス幅が縮小した業種は、サービス業△40.0(同△42.8)である。プラスからマイナスに転じた業種は、製造業▲11.1(同△11.1)である。マイナス幅が拡大した業種は、建設業▲33.3(同▲23.5)である。

○ 向こう3ヶ月(6月から8月)の先行き見通しについては、全産業では、▲4.2(前月水準▲1.3)となり、マイナス幅が2.9ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、サービス業△33.3(同△28.5)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業±0.0(同△5.8)、製造業±0.0(同△5.5)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、卸小売業▲40.0(同▲29.1)である。

平成29年5月の売上DI値(前年同月比)の推移

	平成28年 12月	平成29年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6月~8月(5月~7月)
全産業	▲8.0	▲10.2	▲11.1	△2.6	▲2.7	▲8.4	▲4.2(▲1.3)
建設	▲11.1	△4.7	▲20.0	±0.0	▲23.5	▲33.3	±0.0(△5.8)
製造	▲5.5	△11.1	△23.5	△5.8	△11.1	▲11.1	±0.0(△5.5)
卸・小売	▲12.5	▲36.0	▲31.8	▲31.8	▲25.0	▲20.0	▲40.0(▲29.1)
サービス	±0.0	▲14.2	▲7.6	△50.0	△42.8	△40.0	△33.3(△28.5)



【平成29年5月の採算についての状況】

○ 5月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲18.3(前月水準▲9.3)となり、マイナス幅が8.8ポイント拡大した。

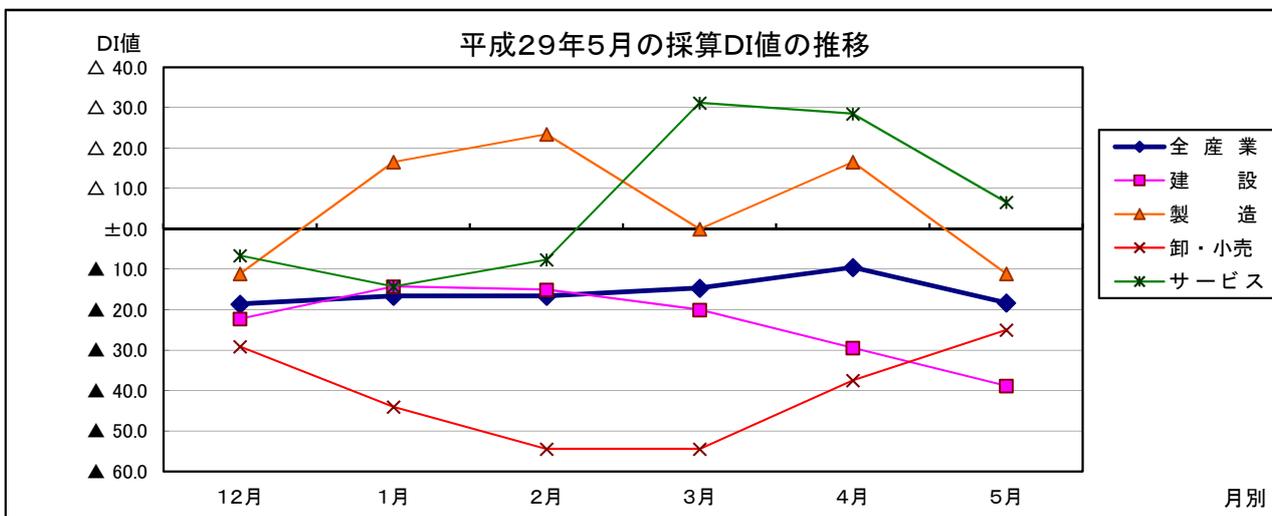
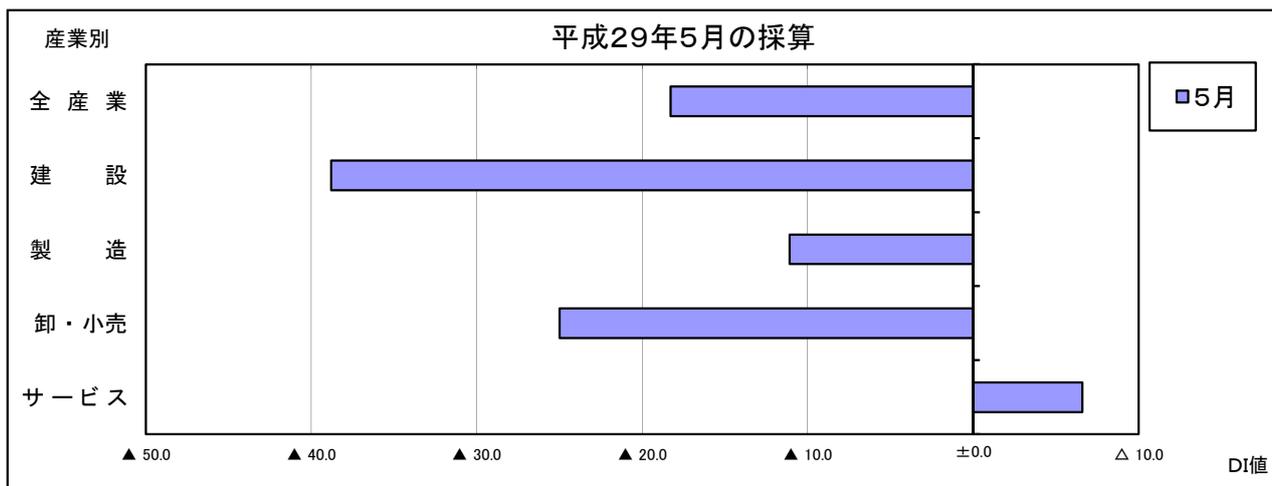
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲25.0(同▲37.5)である。プラス幅が縮小した業種は、サービス業△6.6(同△28.5)である。プラスからマイナスに転じた業種は、製造業▲11.1(同△16.6)である。マイナス幅が拡大した業種は、建設業▲38.8(同▲29.4)である。

○ 向こう3ヶ月(6月から8月)の先行き見通しについては、全産業では、▲14.0(前月水準▲12.3)であり、マイナス幅が1.7ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、サービス業△13.3(同±0.0)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲11.1(同±0.0)、卸小売業▲40.0(同▲33.3)、建設業▲11.1(同▲5.8)である。

平成29年5月の採算DI値(前年同月比)の推移

	平成28年 12月	平成29年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6月~8月(5月~7月)
全産業	▲18.6	▲16.6	▲16.6	▲14.6	▲9.5	▲18.3	▲14.0(▲12.3)
建設	▲22.2	▲14.2	▲15.0	▲20.0	▲29.4	▲38.8	▲11.1(▲5.8)
製造	▲11.1	△16.6	△23.5	±0.0	△16.6	▲11.1	▲11.1(±0.0)
卸・小売	▲29.1	▲44.0	▲54.5	▲54.5	▲37.5	▲25.0	▲40.0(▲33.3)
サービス	▲6.6	▲14.2	▲7.6	△31.2	△28.5	△6.6	△13.3(±0.0)



【平成29年5月の仕入単価についての状況】

○5月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲23.9(前月水準▲24.6)となり、マイナス幅が0.7ポイント縮小した。

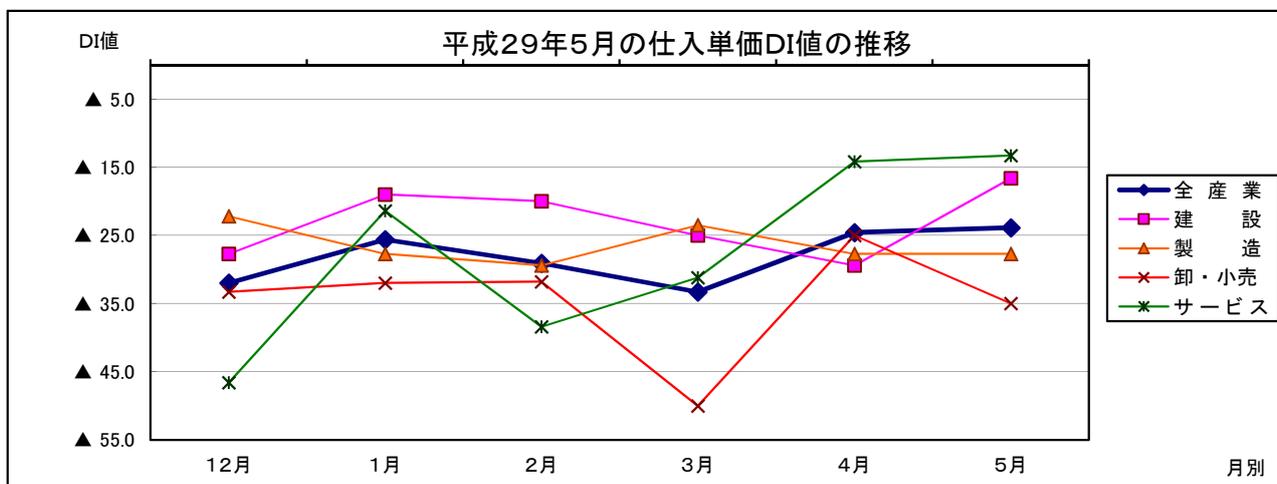
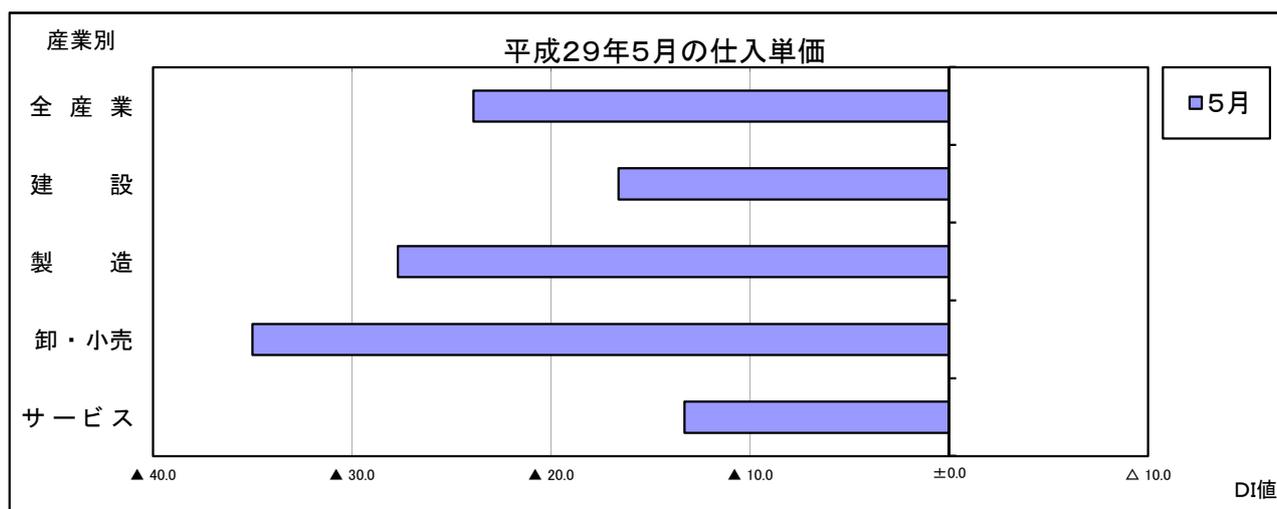
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業▲16.6(同▲29.4)、サービス業▲13.3(同▲14.2)である。変らない業種は、卸小売業▲27.7(同▲27.7)である。マイナス幅が拡大した業種は、卸小売業▲35.0(同▲25.0)である。

○向こう3ヶ月(6月から8月)の先行き見通しについては、全産業では、▲18.3(前月水準▲19.1)となり、マイナス幅が0.8ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業▲5.5(同▲17.6)、サービス業▲13.3(同▲14.2)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲27.7(同▲22.2)、卸小売業▲25.0(同▲20.8)である。

平成29年5月の仕入単価DI値(前年同月比)の推移

	平成28年 12月	平成29年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6月~8月(5月~7月)
全産業	▲32.0	▲25.6	▲29.1	▲33.3	▲24.6	▲23.9	▲18.3(▲19.1)
建設	▲27.7	▲19.0	▲20.0	▲25.0	▲29.4	▲16.6	▲5.5(▲17.6)
製造	▲22.2	▲27.7	▲29.4	▲23.5	▲27.7	▲27.7	▲27.7(▲22.2)
卸・小売	▲33.3	▲32.0	▲31.8	▲50.0	▲25.0	▲35.0	▲25.0(▲20.8)
サービス	▲46.6	▲21.4	▲38.4	▲31.2	▲14.2	▲13.3	▲13.3(▲14.2)



【平成29年5月の従業員についての状況】

○5月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△15.4(前月水準△19.1)となり、プラス幅が3.7ポイント縮小した。

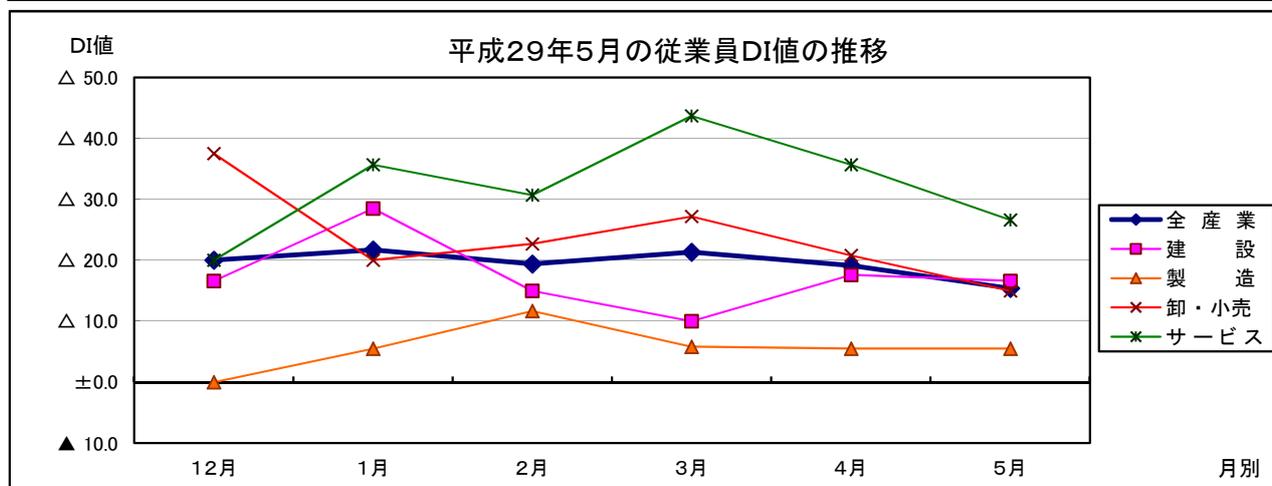
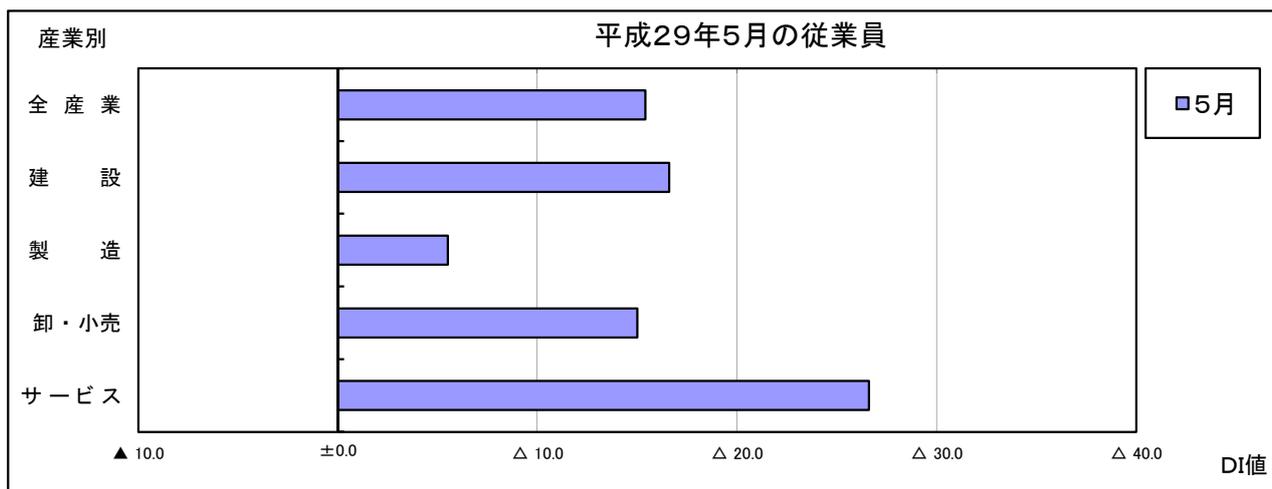
業種別では、前月水準と比べて、変らない業種は、製造業△5.5(同△5.5)である。プラス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、サービス業△26.6(同△35.7)、卸小売業△15.0(同△20.8)、建設業△16.6(同△11.7)である。

○向こう3ヶ月(6月から8月)の先行き見通しについては、全産業では、△19.7(前月水準△20.5)であり、プラス幅が0.8ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業△22.2(同△16.6)、卸小売業△25.0(同△20.8)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業△20.0(同△35.7)、建設業△11.1(同△11.7)である。

平成29年5月の従業員DI値(前年同月比)の推移

	平成28年 12月	平成29年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6月~8月(5月~7月)
全産業	△20.0	△21.7	△19.4	△21.3	△19.1	△15.4	△19.7(△20.5)
建設	△16.6	△28.5	△15.0	△10.0	△17.6	△16.6	△11.1(△11.7)
製造	±0.0	△5.5	△11.7	△5.8	△5.5	△5.5	△22.2(△16.6)
卸・小売	△37.5	△20.0	△22.7	△27.2	△20.8	△15.0	△25.0(△20.8)
サービス	△20.0	△35.7	△30.7	△43.7	△35.7	△26.6	△20.0(△35.7)



【平成29年5月の資金繰りについての状況】

○ 5月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲7.0(前月水準▲1.3)となり、マイナス幅が5.7ポイント拡大した。

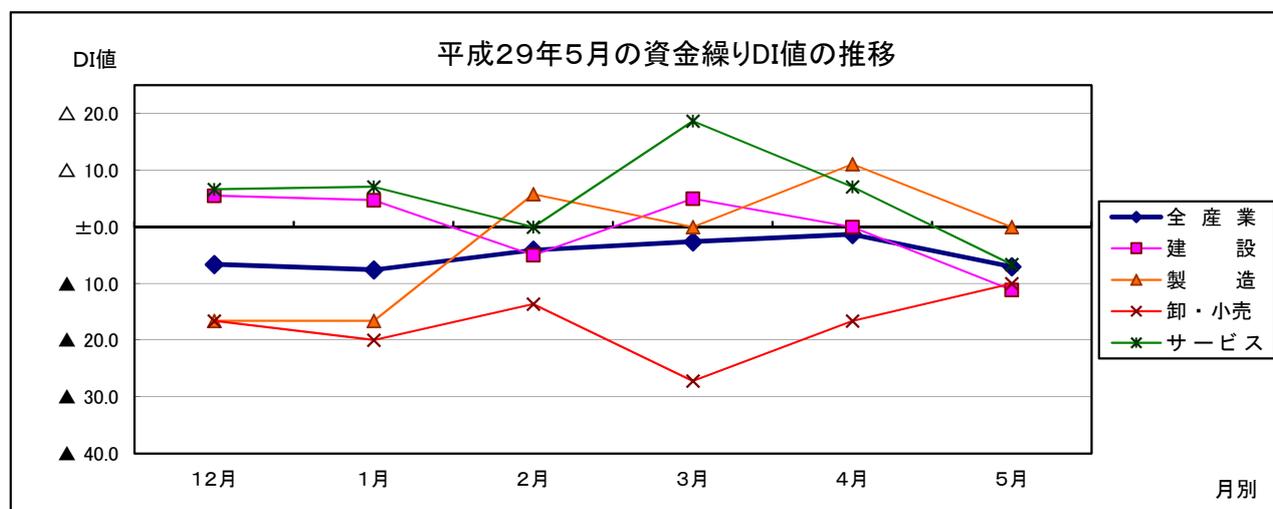
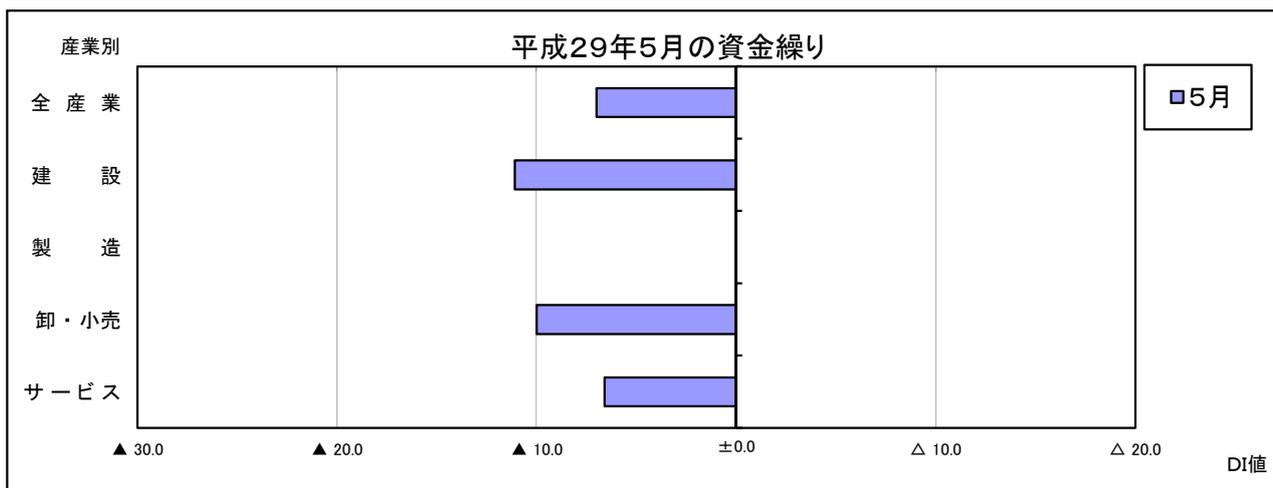
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲10.0(同▲16.6)である。プラス幅が縮小した業種は、製造業±0.0(同△11.1)である。プラスからマイナスに転じた業種は、サービス業▲6.6(同△7.1)である。マイナス幅が拡大した業種は、建設業▲11.1(同±0.0)である。

○ 向こう3ヶ月(6月から8月)の先行き見通しについては、全産業では、▲2.8(前月水準▲4.1)となり、マイナス幅が1.3ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、製造業△11.1(同±0.0)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲20.0(同▲20.8)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業±0.0(同△7.1)、建設業±0.0(同△5.8)である。

平成29年5月の資金繰りDI値(前年同月比)の推移

	平成28年 12月	平成29年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 6月~8月(5月~7月)
全産業	▲6.6	▲7.6	▲4.1	▲2.6	▲1.3	▲7.0	▲2.8(▲4.1)
建設	△5.5	△4.7	▲5.0	△5.0	±0.0	▲11.1	±0.0(△5.8)
製造	▲16.6	▲16.6	△5.8	±0.0	△11.1	±0.0	△11.1(±0.0)
卸・小売	▲16.6	▲20.0	▲13.6	▲27.2	▲16.6	▲10.0	▲20.0(▲20.8)
サービス	△6.6	△7.1	±0.0	△18.7	△7.1	▲6.6	±0.0(△7.1)



【DI値集計表】

	売上高(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 8.4	▲ 4.2	▲ 18.3	▲ 14.0	▲ 23.9	▲ 18.3	△ 15.4	△ 19.7
建設	▲ 33.3	±0.0	▲ 38.8	▲ 11.1	▲ 16.6	▲ 5.5	△ 16.6	△ 11.1
製造	▲ 11.1	±0.0	▲ 11.1	▲ 11.1	▲ 27.7	▲ 27.7	△ 5.5	△ 22.2
卸・小売	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 35.0	▲ 25.0	△ 15.0	△ 25.0
サービス	△ 40.0	△ 33.3	△ 6.6	△ 13.3	▲ 13.3	▲ 13.3	△ 26.6	△ 20.0

	業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 23.9	▲ 11.2	▲ 7.0	▲ 2.8
建設	▲ 27.7	▲ 5.5	▲ 11.1	±0.0
製造	▲ 22.2	△ 5.5	±0.0	△ 11.1
卸・小売	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 10.0	▲ 20.0
サービス	▲ 6.6	▲ 6.6	▲ 6.6	±0.0

平成29年5月CCI-LOBOとの比較

- 【業況D I】 全産業合計では、「柏の景気」が▲23.9に対し、「CCI-LOBO」が▲16.2で柏の方がマイナス幅が7.7ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、卸小売業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業・製造業・サービス業であり、建設業・製造業では10ポイント以上悪い。
- 【売上D I】 全産業合計では、「柏の景気」が▲8.4に対し、「CCI-LOBO」が▲11.2で柏の方がマイナス幅が2.8ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、卸小売業・サービス業であり、それぞれ10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業・製造業であり、建設業では10ポイント以上悪い。
- 【採算D I】 全産業合計では、「柏の景気」が▲18.3に対し、「CCI-LOBO」が▲12.8で柏の方がマイナス幅が5.5ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、卸小売業・サービス業であり、サービス業では10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業・製造業であり、建設業では10ポイント以上悪い。
- 【仕入単価D I】 全産業合計では、「柏の景気」が▲23.9に対し、「CCI-LOBO」が▲29.6で柏の方がマイナス幅が5.7ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、建設業・製造業・サービス業であり、建設業・サービス業では10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業である。
- 【従業員D I】 全産業合計では、「柏の景気」が△15.4に対し、「CCI-LOBO」が△20.3で柏の方がプラス幅が4.9ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、サービス業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業・製造業・卸小売業である。
- 【資金繰りD I】 全産業合計では、「柏の景気」が▲7.0に対し、「CCI-LOBO」が▲8.4で柏の方がマイナス幅が1.4ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、製造業・卸小売業・サービス業であり、卸小売業では10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業である。

平成29年5月の柏の景気天気図

柏の景気情報と全国CCI-LOBOとの比較

景気天気図					
	特に好調 DI \geq 50	好調 50>DI \geq 25	まあまあ 25>DI \geq 0	不振 0>DI \geq ▲25	極めて不振 ▲25>DI

業況DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 23.9	 ▲ 27.7	 ▲ 22.2	 ▲ 35.0	 ▲ 6.6
CCI-LOBO	 ▲ 16.2	 ▲ 15.8	 ▲ 12.2	 ▲ 36.5	 ▲ 5.4

売上DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 8.4	 ▲ 33.3	 ▲ 11.1	 ▲ 20.0	 40.0
CCI-LOBO	 ▲ 11.2	 ▲ 13.7	 ▲ 4.3	 ▲ 30.7	 ▲ 3.4

採算DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 18.3	 ▲ 38.8	 ▲ 11.1	 ▲ 25.0	 6.6
CCI-LOBO	 ▲ 12.8	 ▲ 10.3	 ▲ 5.8	 ▲ 29.6	 ▲ 10.0

仕入単価DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 23.9	 ▲ 16.6	 ▲ 27.7	 ▲ 35.0	 ▲ 13.3
CCI-LOBO	 ▲ 29.6	 ▲ 34.6	 ▲ 29.9	 ▲ 28.4	 ▲ 29.4

従業員DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 15.4	 16.6	 5.5	 15.0	 26.6
CCI-LOBO	 20.3	 23.5	 11.4	 24.1	 25.7

資金繰りDI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 7.0	 ▲ 11.1	 ±0.0	 ▲ 10.0	 ▲ 6.6
CCI-LOBO	 ▲ 8.4	 ▲ 3.7	 ▲ 5.6	 ▲ 21.0	 ▲ 6.7

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上良い項目

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上悪い項目

柏の景気情報

(5月の調査結果のポイント)

調査期間：平成29年5月24日～5月29日

調査対象：柏市内156事業所及び組合にヒアリング、回答数71件

柏の景気情報・産業別業況DI

	全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
12月	▲18.6	▲16.6	▲16.6	▲33.3	±0.0
1月	▲24.3	▲23.8	▲11.1	▲44.0	▲7.1
2月	▲22.2	▲20.0	△5.8	▲45.4	▲23.0
3月	▲13.3	▲10.0	△5.8	▲50.0	△12.5
4月	▲20.5	▲17.6	▲11.1	▲41.6	±0.0
5月	▲23.9	▲27.7	▲22.2	▲35.0	▲6.6
見通し	▲11.2	▲5.5	△5.5	▲35.0	▲6.6

「見通し」は今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

柏市の業況

業況DIは2ヶ月連続で悪化。先行きは懸念材料多く、足踏み状態が続く。

5月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲23.9(前月水準▲20.5)となり、マイナス幅が3.4ポイント拡大した。業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲35.0(同▲41.6)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲22.2(同▲11.1)、建設業▲27.7(同▲17.6)、

サービス業▲6.6(同±0.0)である。

【建設業】からは、「インスペクションへの対応準備が、今後の受注の鍵になるのでは。」(一般土木建築工事業)、「売上と仕入が同額という経営危機のため財務体質強化が重要課題。」(内装工事業)、「オリンピック景気はどうなったのでしょうか?」、「消費税の増税が先送りになり、その好影響は?」、「借金してでも公共事業費を増やし、色々な補助金を付けたのにな?それ以外の理由で住宅業者の選別が始まる中、売上増加・業況好転になりたいものです。」(一般土木建築工事業)などのコメントが寄せられた。

【卸小売業】からは、「SC等で低価格化が進んでいて足を引っ張られている感じ。高額品苦戦。」(婦人・子供服小売業)、「昨年は多くの食品スーパーが出店したため、だいぶ売上を取られたが、その反動なのかこの2ヶ月は上向ってきている。」(各種食料品小売業)、「母の日の売上は好調」(菓子・パン小売業)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは、「各種イベントの形が少しずつ変化しており、縛りが多く全体的に縮小しているような気がする。それは業界にとつてよくない傾向。」(印刷業)、「材料会社の設備投資失敗や火災によりSUS材料の品薄状態により、納期確保と価格上昇が懸念される。」(その他の機械・同部品製造業)、「売上高は昨年同月比で増加したが、昨年末〜本年初の設備投資による減価償却費の増加等の影響もあり

【サービス業】からは、「天候不順で衣替えも一斉に始まり、夏物学生・子供衣料もまぢまちのため、日々の売上の変動が激しい。急いで夏物を準備したが現在のところ反応がない。最近、お客様からネット通販や100円ショップの利用の話が多くなり、客足が減少しているようだ。仕入決算は月末の翌25日払い

と、給料が20日頃の30日振込に対し、大口の請求決済が月末頃の翌月末の振込のため資金繰りが厳しいため、給料支給日の変更を検討中」(その他の飲食料品小売業)、「大手宅配会社の値上げが運送業界の体質改善に波及するのを見極めたい。」(一般貨物自動車運送業)、「国土交通省の貸切バスの新たな運賃料金制度(時間・距離併用制)導入により、貸切バス運賃が上昇し3年が経つ。今迄よりも近くした

より売上激減。」(内装工事業)、「受注減少で残業0日が続いている。」(その他の金属製品製造業)、「4月は多少売上増になったが、ゴールデンウィーク後はまた元にもどり繊維不況に後戻り。」(婦人・子供服小売業)、「下請けから発注欲しいと要請があるが、自社も柱となる発注が見出せず苦慮している。」(ソフトウェア業)などのコメントが寄せられた。

【不動産賃貸・管理業】、「TX沿線の宅地開発に伴う人口増加で保育園や学校が足りない。このエリアは子供達が多く働き盛りの家庭の比率が大きくなっている」(不動産賃貸業)、「物件の買取依頼・売却依頼が増えている。駅に近い、交通の便利な所、環境の良い物件は人気がある。」(不動産管理業)などのコメントが寄せられた。

◎人手不足(人件費高騰) 各業種より、「人件費の高騰・人手不足のため、多少の賃上げでは集まらない。」(その他の各種商品小売業)、「いまだに人手不足は深刻である。」(各種食料品小売業)、「採用計画」(織物業)などのコメントが寄せられた。

CCI・LOBBOとの比較 全産業合計では、「柏の景気」が▲23.9に対し、「CCI・LOBBO」が▲16.2で柏の方がマイナス幅が7.7ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、卸小売業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業・製造業・サービス業であり、建設業・製造業では10ポイント以上悪い。

5月の景気キーワード

◎受注減少 各業種より、「大口取引先の突然の支払い条件変更」

CC I - L O B O

商工会議所早期景気観測(5月速報)

調査期間：平成29年5月16日～22日

調査対象：全国の424商工会議所が3456企業にヒアリング調査を実施

全国の業況

業況DIは、3カ月連続改善。先行きは懸念材料払拭できず、ほぼ横ばい

5月の全産業合計の業況DIは、▲16.2と、前月から+1.1ポイントの改善。ただし、「悪化」から「不変」への変化が押し上げ要因となったことに留意が必要。インバウンドを含めゴールデンウィークの好調な観光需要からサービス業の業況感が改善した。また、電子部品、自動車関連の堅調な生産・輸出や、建設・設備投資の底堅い推移から、関連商品を扱う卸売業の業況改善を指摘する声がかれた。他方、消費者の節約志向や人手不足の影響拡大、原材料・燃料の値上りが依然、中小企業のマインドに影響を及ぼしており、業況改善に向けた動きは力強さを欠いている。

先行きについては、先行き見通しDIが▲15.9（今月比+0.3ポイント）とほぼ横ばいを見込む。インバウンドを含む消費や輸出の拡大に期待する声が聞かれる。他方、消費の一段の悪化、人手不足の影響拡大、原材料・燃料価格の上昇、地政学的リスクなど、先行きの懸念材料を指摘する声は多く、

中小企業の業況感は足踏みが続く見通し。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「公共工事の発注量が増加しつつあることに加え、民間工事も堅調で売上は改善した。ICTの活用を条件とする工事案件が増加しつつあることから、対応するための新規設備投資を検討している」（建築工事業）、「技術者不足のため、受注したくてもできない状況が続いている。下請業者も同様に人手不足が深刻なため、工程の遅延は避けられない」（一般工事業）

【製造業】「輸出は引き続き堅調に推移しているため、売上は良いが、戦争やテロなどの地政学的リスクに伴う為替変動が不安材料」（自動車部品製造業）、「原材料価格の上昇に伴い、収益が圧迫されつつある。採算の維持・改善のため、価格転嫁交渉を進めているが難航している」（鉄鋼業）

【卸売業】「建設業などからの引き合いは好調。銅などの仕入価格は上昇傾向にある

が、価格転嫁は進んでおり、収益は改善している」（建設資材卸売業）、「今のところ粗利は確保できているが、今後運送会社から契約運賃の見直しを迫られれば対応せざるを得ず、採算は悪化する見込み」（生活雑貨卸売業）

【小売業】「消費者の節約志向が強くなり、売上は改善しない。来月から改正酒税法が施行され、酒類の安売りが規制されれば、売上の更なる低下が懸念される」（酒類小売業）、「競合店舗との価格競争が厳しく、売上が悪化した。また、パート・アルバイトの採用難が続く、時給を引き上げざるを得ず、採算も悪化した」（スーパーマーケット）、「化粧品を中心にインバウンド需要が好調。客数のみならず客単価にも復調の兆しが見られる」（百貨店）

【サービス業】「例年に比べ日並びが良く、好天に恵まれたため、ゴールデンウィークの客室稼働率は高水準となった。連休以降も例年並みの水準を維持し、売上は改善した。」（宿泊業）、「新たなドライバーの採用が難しいため、従業員の離職防止に努めており、賃金や福利厚生などの待遇を改善した」（運送業）

「前年の熊本地震による売上減少の反動に加え、大型連休の客足が好調で、売上は改善した。街に活気が戻り、今後売上増加を期待できそうだ」（飲食業）

全国・産業別業況DIの推移

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

	全産業	建設	製造	卸売	小売	サービス
12月	▲21.7	▲12.7	▲19.6	▲22.5	▲38.2	▲14.6
1月	▲23.0	▲16.7	▲13.9	▲25.4	▲42.0	▲18.5
2月	▲24.0	▲14.6	▲17.1	▲32.5	▲40.4	▲18.6
3月	▲20.1	▲9.6	▲12.8	▲24.2	▲40.5	▲14.7
4月	▲17.3	▲10.6	▲11.3	▲18.9	▲33.0	▲12.5
5月	▲16.2	▲15.8	▲12.2	▲12.0	▲36.5	▲5.4
見通し	▲15.9	▲13.4	▲12.2	▲15.3	▲33.6	▲6.7